

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2016年2月
コンサベーション・インターナショナル

中央カルダモン保護林管理計画

この三ヶ月間、CIは森林局やパートナーである Fintrac とともに、次の五カ年の中央カルダモン保護林管理計画（2016-2021年）の最終化に向けて協力してきました。前保護林管理計画からの進捗に基づき改訂版を作成するための調査結果が、Fintrac が契約しているコンサルタントから送られてきました。現在、コンサルタントの調査結果を検討しているところです。新しい計画は、より簡潔でわかりやすく、実行しやすいものとなります。計画作りのため、民間企業やレンジャー、地方裁判所、知事、森林局のスタッフ、村長たちとの話し合いを重ねてきました。管理計画に関わるすべてのステークホルダーの意見を聞くために、あと二つのワークショップが2月に開催される予定です。

トラストファンド（基金）

トラストファンドの立ち上げは2016年1月15日に予定されています。招待客への案内やセレモニーで使う写真や映像の選択、中央カルダモン森林や他のCIのプロジェクトサイトをヘリコプターで視察する準備などをすすめています。

2015年12月11日に森林局で理事会が開催され、過去半年間の中央カルダモン森林保全プロジェクトの活動や成果が紹介されました。レビューセッションも行われ、コミュニティが関わることの重要性や森林の境界を人々が認識することの必要性、パトロールのやり方や必要な技術の習得について、話し合いました。

次の6ヶ月間の森林局との連携についての作業計画と予算も話し合いました。レンジャーの能力と、より効率的なパトロールのやり方の構築に焦点を置くことを確認しました。

パトロールと違法行為への対応

今期は、前期に作成した新しいパトロール戦略を実行しました。このプロセスで重要な役割を果たすのが、中央カルダモン保護林の北部と南部を担当する森林局マネージャー、CIとそのパートナーの代表で構成される中央カルダモン保護林管理チームです。管理チームは毎月集まっ

て、日々の業務や予算の管理をし、収集されたデータやレンジャーの活動を確認して、短中期計画を作成、課題解決に取り組んでいます。

この三か月間で 570 回以上のパトロールが実施され、7 台の車両、40 台のチェーンソー、2 丁の銃、82 キロの野生動物の肉、猿の頭 18 個が押収され、6 カ所の違法キャンプが撤収されました。

ダイキン社による支援により、3 つのコミュニティによるパトロールを続けており、アロワナ（ドラゴンフィッシュ）の池とシャムワニの保護区に焦点をあてています。65 名（内 2 名は女性）がのべ 102 日間のパトロールを実施し、アロワナの数が増えているという報告も続いています。

トレーニング

カンボジア国内外において様々なトレーニングを行いました。国内ではレンジャーたちが、SMART に関する復習、新機能の再確認、コンパスや地図の読み方、GIS（地理情報処理システム）の扱い方、タイでは USAID も協賛し、中央カルダモン保護林の北部マネージャーが取締に関する政策と実践のトレーニングを受け、中国では南部マネージャーが SMART 及び取締に関するトレーニングを受けました。

カメラトラップデータ

カメラトラップによるさらなるデータが集められています。地域の生物多様性に関する情報量が増えており、おそらくカンボジアで最大の象の群れのひとつの撮影に成功しました。雄も雌も子どももいる群れです。このように健全な構成の象の群れを撮影できたことは予想外の成果であり、大変勇気づけられることです。



カメラトラップにより撮影された画像

他の種の生物の数も安定している証拠がありました。カメラはいったんリセットされて再設置され、三か月後にまたデータを回収します。

コミュニティ主導型のエコツーリズム (Community Based Eco- tourism)

ダイキン社のサポートとコミュニティのリクエストにより、Tatai Leu 村でコミュニティ主導型のエコツーリズムを続けています。この三か月間で、管理チームは 4 回集まりました。定款も完成しました。ポスターやバナー、チラシやウェブサイトが作成され、観光客誘致のための戦略を練っています。

観光情報センターは工事中で、完成間近です。

コミュニティでは、ハイキングルートを開発し、バードウォッチング、バナナワイン作り、ジャングルキャンプ、ボート遊びや釣り遠征など観光客に提案できるアクティビティを設定しています。今後は、衛生や調理の研修を受けて、コミュニティ主導型のエコツーリズムが質と安全だけでなく、より幅広くコミュニティをサポートしていけるようにします。

レンジャーとコミュニティの提携戦略

レンジャーとコミュニティの関係を強める戦略が続いています。新年には、森林局によって見直された戦略がレンジャーたちに提示され、意見交換をする予定です。トレーニングによって、レンジャーたちも評価されるようになり、戦略が効果的に行われるようになります。この戦略の鍵は、レンジャーとコミュニティが定期的に意見交換できるための基点を作ることです。

コミュニケーション

クメール語の中央カルダモン保護林ニュースレターの第一号が、2016年1月15日のトラストファンド設立に合わせて発行される予定です。英語版はその後すぐにリリースされます。ニュースレターが、森林局やコミュニティ、中央カルダモン保護林のパートナーや興味を持ってくれるグループからの寄付につながることを期待しています。